

最近のサイバー攻撃の動向と 中小企業向けサイバーセキュリティ対策について



独立行政法人情報処理推進機構 (IPA)
セキュリティセンター
2022年12月

1. 独立行政法人 情報処理推進機構（IPA）のご紹介
2. 情報セキュリティ10大脅威と事例のご紹介
3. 中小企業向けサイバーセキュリティ対策について
 - ・ SECURITY ACTION制度のご紹介
 - ・ サイバーセキュリティお助け隊制度のご紹介
4. まとめ
5. 参考資料

情報処理推進機構(IPA)のご紹介

- 日本のIT国家戦略を技術面、人材面から支えるために設立された、経済産業省所管の独立行政法人
- 誰もが安心してITのメリットを実感できる“**頼れるIT社会**”の実現を目指しています



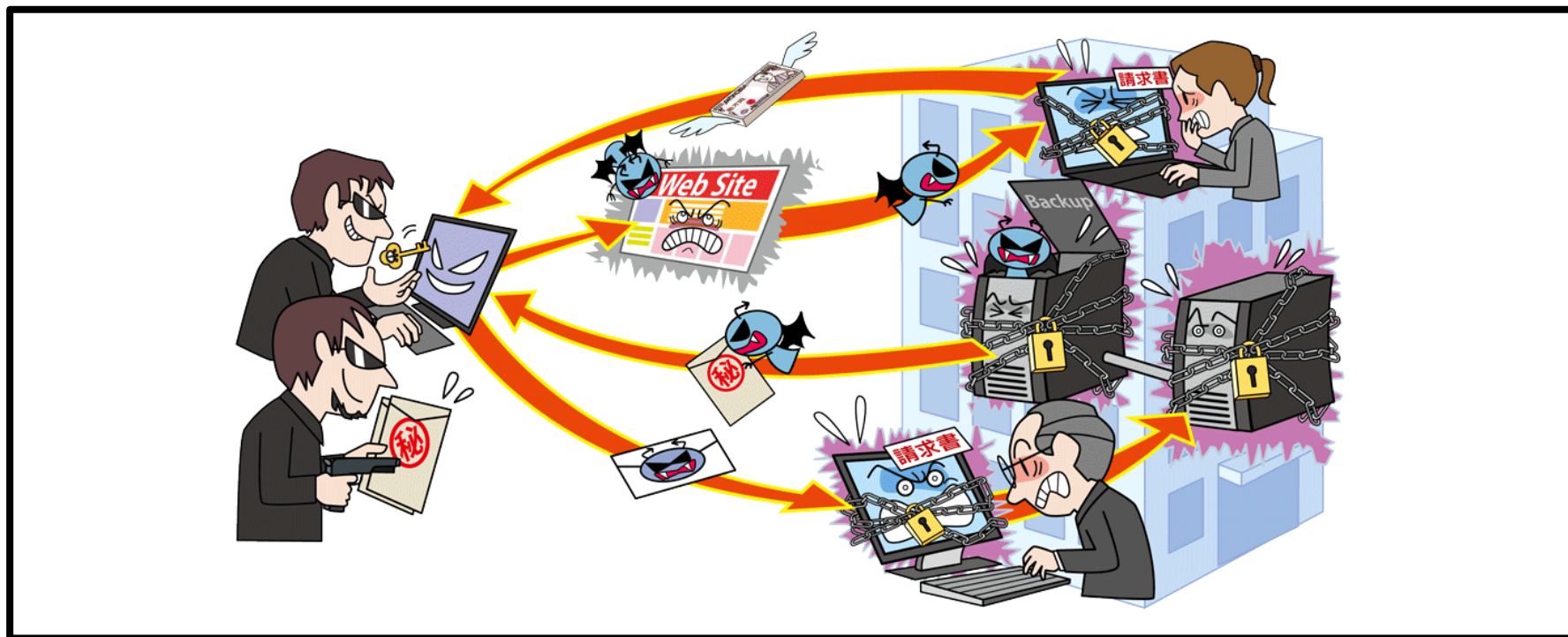
情報セキュリティ10大脅威 2022 脅威ランキング



「個人」向け脅威	順位	「組織」向け脅威
フィッシングによる個人情報等の詐取	1	ランサムウェアによる被害
ネット上の誹謗・中傷・デマ	2	標的型攻撃による機密情報の窃取
メールやSMS等を使った 脅迫・詐欺の手口による金銭要求	3	サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃
クレジットカード情報の不正利用	4	テレワーク等の ニューノーマルな働き方を狙った攻撃
スマホ決済の不正利用	5	内部不正による情報漏えい
偽警告によるインターネット詐欺	6	脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加
不正アプリによる スマートフォン利用者への被害	7	修正プログラムの公開前を狙う攻撃 (ゼロデイ攻撃)
インターネット上のサービスからの 個人情報の窃取	8	ビジネスメール詐欺による金銭被害
インターネットバンキングの不正利用	9	予期せぬIT基盤の障害に伴う業務停止
インターネット上のサービスへの 不正ログイン	10	不注意による情報漏えい等の被害

【1位】ランサムウェアによる被害

～社会インフラに大きな影響が出る場合も～



- PC等に保存されているファイルを暗号化され使用不可に
- 復旧と引き換えに金銭を要求される
- 情報を窃取しそれを公開すると脅迫するケースも

【1位】ランサムウェアによる被害

～社会インフラに大きな影響が出る場合も～

● 攻撃手口

・ウイルス（ランサムウェア）に感染させて金銭を要求

■ メールを利用した手口

- ・不正な添付ファイルを開かせる
- ・メール内のリンクをクリックさせる

■ ウェブサイトを利用した手口

- ・ランサムウェアをダウンロードさせるようにウェブサイトを変更
- ・当該サイトを閲覧するようにメール等で誘導



【1位】ランサムウェアによる被害

～社会インフラに大きな影響が出る場合も～

● 攻撃手口

・ウイルス（ランサムウェア）に感染させて金銭を要求

■ 脆弱性を悪用した手口

- ・ソフトウェアの脆弱性を悪用しウイルスを実行（感染させる）
- ・攻撃ツール等を利用してネットワーク越しに次々と感染させる

■ 不正アクセスによる手口

- ・管理用のRDP（リモートデスクトップ）等でサーバーに不正アクセス
- ・サーバー上で攻撃者がウイルスを実行（感染させる）



【1位】ランサムウェアによる被害

～社会インフラに大きな影響が出る場合も～

● 2021年の事例

■ 病院へのランサムウェア攻撃 (※1)

- ・2021年10月、病院のシステムがランサムウェアに感染し
電子カルテや会計システムにアクセスできなくなる等の被害
- ・暗号化解除と引き換えに身代金を要求されたが応じず
- ・システム復旧まで新規患者の受け入れを中止する等の影響
- ・2022年1月、通常診療を再開

【出典】※1 サイバー攻撃を受けた徳島・半田病院 約2カ月ぶりに通常診療全面再開（朝日新聞DIGITAL）
<https://www.asahi.com/articles/ASQ145J9MQ13PTLC00P.html>

病院へのランサムウェア攻撃事例

情報システムの問題点（調査報告書^(※1)より一部抜粋）



状況・課題	情報セキュリティ対策の基本	IPAの提言
・VPN装置の脆弱性管理を実施していなかった ・Windowsその他システムのアップデート未実施	ソフトウェアの更新	SA①OSやソフトウェアは常に最新の状態にしよう！
・アンチウイルスソフトが未稼働	セキュリティソフトの利用	SA②ウイルス対策ソフトを導入しよう！
・短い（5桁）パスワード設定やロックアウト機能が無効になっていた ・VPN装置の脆弱性を利用した認証情報が漏洩したが、ID、パスワードを変更していなかった	パスワードの管理・認証の強化	SA③パスワードを強化しよう！
・VPN装置への接続元IPアドレス制限を怠っていた ・電子カルテシステム、部門システムのIPアドレスに存在するすべてのサーバが「信頼済みサイトゾーン」と設定されていた	設定の見直し	SA④共有設定を見直そう！
・閉域網ではないにもかかわらずインターネット上の脅威を評価していなかった	脅威・手口を知る	SA⑤脅威や攻撃の手口を知ろう！
・「インシデント対応を行う専門家が不在であったため、終始インシデント対応に苦慮している。半田病院のエンジニア派遣要請に各事業者が応じ、現地に対応を協力していればインシデント対応はより迅速に行われたものとする。」		サイバーセキュリティお助け隊

【出典】※1 コンピュータウイルス感染事案有識者会議調査報告書について（徳島県つるぎ町立半田病院）
<https://www.handa-hospital.jp/topics/2022/0616/index.html>

中小企業向けサイバーセキュリティ対策について 現場対応の徹底支援

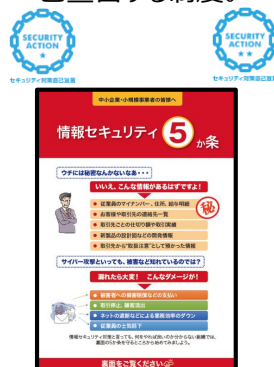
事前の備えから、インシデントが発生してしまった後の対応・復旧支援まで

- セキュリティ対策を始めるに当たって何をやればいいのかわからない、そういった悩みをもつ中小企業に対し、まずは意識を持つ為、セキュリティ対策自己宣言「**SECURITY ACTION**」の取り組み。
- 中小企業にとって重要な情報を漏えい、改ざん、消失などの脅威から保護する為の情報セキュリティの考え方や、段階的に実現する為の方策を紹介する「**中小企業情報セキュリティガイドライン**」の発行。
- 常時サイバー環境に異常が無いか監視しつつ、インシデントが発生してしまったが対処方法がわからない、このような中小企業の事後対応を支援し、また簡易サイバー保険を付帯した「**サイバーセキュリティお助け隊**」による支援体制を構築。

平時の対策支援(備え、防御等)

SECURITY ACTION

- セキュリティ対策に取り組むことを事業者が自己宣言する制度。



中小企業情報セキュリティ対策ガイドライン

- 中小企業におけるセキュリティ対策の考え方、具体的方策を紹介。



事後の対策支援(検知、対応、復旧等)

サイバーセキュリティお助け隊

- 中小企業等がサイバー攻撃等で困った時の相談窓口、駆けつけ支援体制を構築。

お助け隊サービス

相談窓口
異常監視

緊急時対応

簡易サイバー保険

中小企業等

相談

駆けつけ等の
対応支援



- 中小企業自らが情報セキュリティ対策に取り組むことを自己宣言する制度

- 「中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン」の実践をベースに2段階の取り組み目標を用意



1 段階目（一つ星）

「情報セキュリティ5か条」に取り組むことを宣言



2 段階目（二つ星）

「5分でできる！情報セキュリティ自社診断」で自社の状況を把握したうえで、「情報セキュリティ基本方針」を定め、外部に公開したことを宣言

- SECURITY ACTION 自己宣言数20万件を突破！（2022年6月）

● 情報セキュリティ対策への取組みの見える化

- ロゴマークをウェブサイトに掲出したり、名刺やパンフレットに印刷することで自らの取組み姿勢をアピール



● 顧客や取引先との信頼関係の構築

- 既存顧客との関係性強化や、新規顧客の信頼獲得のきっかけに



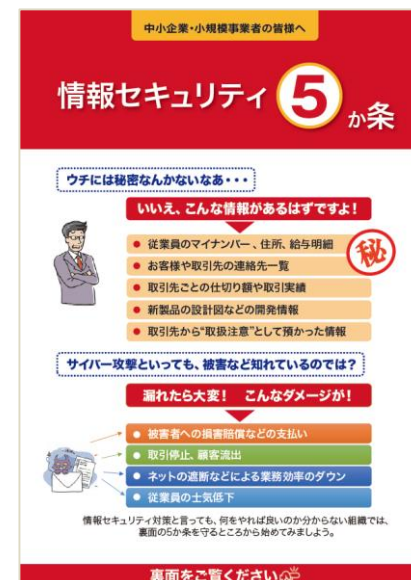
● 公的補助・民間の支援を受けやすく

- SECURITY ACTIONを要件とする補助金の申請、普及賛同企業等から提供される様々な支援策が利用可能



●「情報セキュリティ 5 か条」に取り組むことを宣言

1. OSやソフトウェアは常に最新の状態にしよう
2. ウイルス対策ソフトを導入しよう
3. パスワードを強化しよう
4. 共有設定を見直そう
5. 脅威や攻撃の手口を知ろう



1. OSやソフトウェアは常に最新の状態に

- OSやソフトウェアを古いまま放置していると、セキュリティ上の問題点が解決されず、それを悪用したウイルスに感染してしまう危険性がある
- お使いのOSやソフトウェアには、修正プログラムを適用する、もしくは最新版を利用する

<対策例>

- Windows Update(Windows OSの場合)/ソフトウェア・アップデート(Mac OSの場合)/OSバージョンアップ(Android の場合)
- Adobe Reader/Java実行環境(JRE) など利用中のソフトウェアを最新版にする

2. ウイルス対策ソフトを導入

- ID・パスワードを盗んだり、遠隔操作を行ったり、ファイルを勝手に暗号化するウイルスが増えている
- ウイルス対策ソフトを導入し、ウイルス定義ファイル（パターンファイル）は常に最新の状態になるようにする

<対策例>

- ウイルス定義ファイルが自動更新されるように設定する
- 統合型のセキュリティ対策ソフト(ファイアウォールや脆弱性対策など統合的なセキュリティ機能を搭載したソフト)を導入する

3. パスワードを強化

- パスワードが推測や解析されたり、ウェブサービスから流出した I D・パスワードが悪用されたりすることで、不正にロ
グインされる被害が増えている
- パスワードは「**長く**」「**複雑に**」「**使い回さない**」ようにして
強化する

<対策例>

- パスワードは英数字記号含めて長い文字数にする
- 名前、電話番号、誕生日、簡単な英単語などはパスワードに使わない
- 同じ I D・パスワードをいろいろなウェブサービスで使い回さない

4. 共有設定を見直す

- データ保管などのウェブサービスやネットワーク接続した複合機の設定を間違ったために、無関係な人に情報を覗き見られるトラブルが増えている
- 無関係な人がウェブサービスや機器を使うことができるような設定になっていないことを確認する

＜対策例＞

- ウェブサービスの共有範囲を限定する
- ネットワーク接続の複合機やカメラ、ハードディスク(NAS)などの共有範囲を限定する
- 従業員の異動や退職時に設定の変更(削除)漏れがないように注意する

5. 脅威や攻撃の手口を知る

- 取引先や関係者と偽ってウイルス付のメールを送ってきたり、正規のウェブサイトにした偽サイトを立ち上げてID・パスワードを盗もうとする巧妙な手口が増えている
- 脅威や攻撃の手口を知って対策をとる

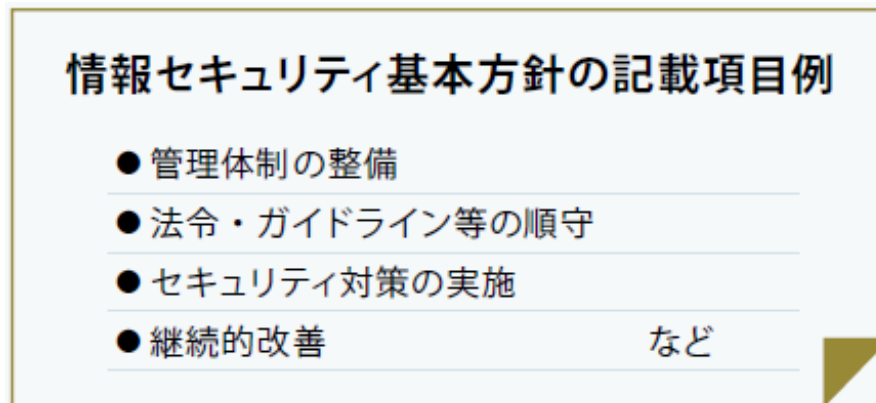
<対策例>

- IPAなどのセキュリティ専門機関のウェブサイトやメールマガジンで最新の脅威や攻撃の手口を知る
- 利用中のインターネットバンキングやクラウドサービスなどが提供する注意喚起を確認する

- 「5分でできる！ 情報セキュリティ自社診断」で自社の状況を把握したうえで、情報セキュリティ基本方針を定め、外部に公開したことを宣言



+

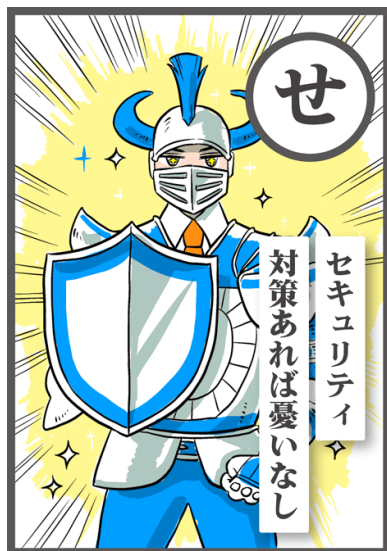


中小企業に対するサイバー攻撃への対処として不可欠なワンパッケージのサービスを要件としてまとめ、これを満たすものを「**サイバーセキュリティお助け隊サービス**」として登録・公表

主な要件	概要
相談窓口	ユーザーからの 相談を受け付ける窓口 を設置／案内
異常の監視の仕組み	ネットワーク及び／又は端末を 24時間見守る仕組み を提供
緊急時の対応支援	インシデント発生などの 緊急時には駆け付け支援
中小企業でも導入・運用できる簡単さ	専門知識がなくても導入・運用できるような工夫
簡易サイバー保険	突発的に発生する駆付け費用等を補償する サイバー保険
中小企業でも導入・維持できる価格	・ネットワーク一括監視型：月額1万円以下（税抜き） ・端末監視型：月額2,000円以下／台（税抜き） ・併用型：これらの和に相当する価格を超えないこと ※端末1台から契約可能であることが条件

相談窓口、緊急時の対応支援、簡易サイバー保険などを**ワンパッケージで提供**

本サービスを採用することを通じて、取引先企業に対する**自社の信頼性のアピール**に



ワンパッケージで簡単導入

- (1)相談窓口
- (2)異常の監視の仕組み
- (3)緊急時の対応支援
- (4)中小企業でも導入・運用できる簡単さ
- (5)簡易サイバー保険

企業のセキュリティ対策に必要な(1)～(5)をまとめて導入できます。

- ・ 専用の窓口で、ユーザーからの質問にお答えします
- ・ ネットワークや端末を24時間見守り・監視しています
- ・ インシデント発生などの緊急時には駆け付け支援いたします
- ・ 専門知識がなくても大丈夫！
- ・ サイバー保険付きで安心

(＊サービスによって提供内容が異なります。詳しくは各サービス内容をご確認下さい。)



中小企業が導入・維持できる価格

端末1台からでもOK！



ネットワーク一括監視型の場合、
サービスによって監視対象の端末数
が異なります

- ・ネットワーク一括監視型:月額1万円以下（税抜き）
- ・端末監視型:月額2,000円以下/台（税抜き）※
- ・併用型:これらの和に相当する価格を超えないこと

※端末1台から契約可能

価格設定に上限があり、サービス運用コストを抑えられます。

- ・コストを抑えたセキュリティ対策の導入が可能
- ・各企業に適した監視型（ネットワーク一括監視型・端末監視型・併用型）を選択することで、効果的な運用ができます
- ・サービスの維持・管理が無理なくできます

（※導入時に、別途初期費用が必要となる場合があります。詳しくは各サービス内容をご確認下さい。）

（※「サイバーセキュリティお助け隊サービス」以外のオプション設定の場合は価格が異なります。）

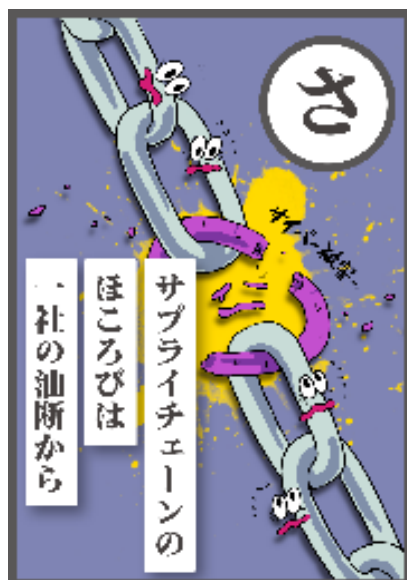


安心・信頼性をアピール

サプライチェーンの中の
中小企業を狙った攻撃が
確認されています！



自社のセキュリティを高めるとともに、取引先や、
グループ企業のセキュリティを守ることにも
つながります



サプライチェーンにおけるセキュリティ対策にもなります。

- 取引先企業に対してアピール可能
- セキュリティ対策は、企業としての社会的信用を高めます
- 企業のBCPに貢献
- セキュリティ対策をすることで、企業の機密事項や顧客の個人情報を守ります



情報セキュリティ対策の基本を実践

サイバー攻撃は、年々、複雑・巧妙化する傾向があるが、基本的な対策の重要性は長年変わらない

社外の制度や助けも活用して対策を実践

- SECURITY ACTION制度
- 情報セキュリティガイドライン
- サイバーセキュリティお助け隊サービス制度

参考資料

● 中小企業自らが情報セキュリティ対策に取り組むことを自己宣言する制度

- 「中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン」の実践をベースに2段階の取り組み目標を用意



セキュリティ対策自己宣言

1 段階目（一つ星）

「情報セキュリティ5か条」に取り組むことを宣言



セキュリティ対策自己宣言

2 段階目（二つ星）

「5分でできる！情報セキュリティ自社診断」で自社の状況を把握したうえで、「情報セキュリティ基本方針」を定め、外部に公開したことを宣言

※SECURITY ACTION制度は、中小企業等自らが情報セキュリティ対策に取り組むことを自己宣言する制度です。
各企業等の情報セキュリティ対策状況等をIPAが認定する、あるいは認証等を付与する制度ではありません

【参考】自治体等におけるSA制度の活用 (令和4年度)

- デジタル化やサイバーセキュリティ対策などを支援するIT導入の補助金申請の要件にするなど、各種 補助金・助成金制度において**SECURITY ACTION制度**を活用。
- 引き続き各地方自治体や団体組織等とも連携の上、取組み拡大。

□ IT導入補助金【継続】

□ ものづくり補助金（デジタル枠）【2022FY新規】

□ 事業承継・引継ぎ補助金【2022FY新規】

： 中小企業庁

□ 地域医療介護総合確保基金を利用したICT導入支援事業【2022FY新規】

： 厚生労働省（実施主体は各都道府県）

□ 令和4年度 サイバーセキュリティ対策促進助成金【継続】

□ 「情報セキュリティ基本方針 策定支援専門家派遣」事業【継続】

： 東京都中小企業振興公社

□ デジタル化トライアル事業費補助金【2022FY新規】

： 秋田県

□ 令和4年度 中小企業等スマートワーク促進補助金（情報セキュリティ事業）【2022FY新規】

： 岐阜県

□ 令和4年度 堺市中小企業デジタル化促進補助金【活用継続】

： 大阪府堺市

- 中小企業の経営者や実務担当者が、情報セキュリティ対策の必要性を理解し、情報を安全に管理するための具体的な手順等を示したガイドライン
- 「クラウドサービス安全利用の手引き」を追加
- 本編2部と付録より構成
 - 経営者が認識すべき「3原則」、経営者がやらなければならない「重要7項目の取組」を記載
 - 情報セキュリティ対策の具体的な進め方を分かりやすく説明
 - すぐに使える「情報セキュリティ基本方針」「情報セキュリティ規程」等のひな形を付録



サイバーセキュリティお助け隊サービス制度



<https://www.ipa.go.jp/security/otasuketai-pr/>

- 中小企業に対するサイバー攻撃への対処として不可欠なワンパッケージのサービスを要件としてまとめ、これを満たすものを「**サイバーセキュリティお助け隊サービス**」として登録・公表

➤ 「サイバーセキュリティお助け隊サービス基準」の主な内容

主な要件	概要
相談窓口	ユーザーからの 相談を受け付ける窓口 を設置／案内
異常の監視の仕組み	ネットワーク及び／又は端末を 24時間見守る仕組み を提供
緊急時の対応支援	インシデント発生などの 緊急時には駆け付け支援
中小企業でも導入・運用できる簡単さ	専門知識がなくても導入・運用できるような工夫
簡易サイバー保険	突発的に発生する駆付け費用等を補償する サイバー保険
中小企業でも導入・維持できる価格	・ネットワーク一括監視型：月額1万円以下（税抜き） ・端末監視型：月額2,000円以下／台（税抜き） ・併用型：これらの和に相当する価格を超えないこと ※端末1台から契約可能であることが条件

相談窓口、緊急時の対応支援、簡易サイバー保険などを**ワンパッケージで提供**

本サービスを採用することを通じて、取引先企業に対する**自社の信頼性のアピール**に

【お助け隊サービス】登録サービスリスト

これまでに、**27**のサービスが登録。（2022年10月31日時点）

	サービス名 (事業者名)
1	商工会議所サイバーセキュリティお助け隊サービス (大阪商工会議所)
2	防検サイバー (M S & A D インターリスク総研株式会社)
3	PCセキュリティみまもりパック (株式会社 P F U)
4	EDR運用監視サービス「ミハルとマモル」 (株式会社 AGEST)
5	SOMPO SHERIFF (標準プラン) (S O M P O リスクマネジメント株式会社)
6	ランサムガード (株式会社 アイティフォー)
7	オフィスSOCおうちSOC (富士ソフト株式会社)
8	セキュリティ見守りサービス「&セキュリティ+」 (株式会社 BCC)
9	CBM ネットワーク監視サービス (中部事務機株式会社)
10	中部電力ミライズ サイバー対策支援サービス (中部電力ミライズ株式会社)
11	C S P サイバーガード (セントラル警備保障株式会社)
12	PCお助けパック PC定期侵害調査プラン (沖電グローバルシステムズ株式会社)
13	ネットワークセキュリティ見守り隊&PCセキュリティ見守り隊サービス (株式会社 コハマ)

	サービス名 (事業者名)
14	マイセキュア ビジネス (NTTコミュニケーションズ株式会社)
15	セキュアエッジMDR 9 9 (セキュアエッジ株式会社)
16	Cloud Edge運用支援EasySOC Plus パック (株式会社大塚商会)
17	アクロネットサイバーセキュリティサービス (株式会社アクロネット)
18	ビジネスサポートサービス (コスモテレコム株式会社)
19	TASKGUARD EDR WS セキュリティーサービス (京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社)
20	TASKGUARD UTM CP セキュリティーサービス (京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社)
21	MBSD Global Security Platform (略称 : MGSP) (三井物産セキュアディレクション株式会社)
22	ラディックスお助け隊サービス (ラディックス株式会社)
23	MR II Plus (株式会社テクノル)
24	ネットワークセキュリティ見守り隊 (株式会社コハマ)
25	Y O N J I M サイバーセキュリティ U T M (株式会社四日市事務機センター)
26	Y O N J I M サイバーセキュリティ U T M & E D R (株式会社四日市事務機センター)
27	TSOCエンドポイントパッケージ (株式会社ハイテックシステム)

● 情報セキュリティ対策を「始めたい」「強化したい」「学びたい」中小企業の方々をサポートするサイト

- 5分でできる！自社診断 & ポイント学習
- セキュリティプレゼンター支援
- SECURITY ACTION 自己宣言者サイト

The screenshot shows the homepage of the Information Security Measures Support Site (IPA Security Shien). The header includes the site name, a text size selector (標準, 大きく), and links for login, user registration, and contact. A navigation bar lists various roles: 経営者の方, 対策実践者の方, 従業員の方, 啓発者/教職員の方, and 一般/学生の方. The main content area is titled 'このサイトでできること' (What you can do on this site) and lists three main services: 1. 知りたい (What I want to know): Information Security Self-Diagnosis, which allows users to assess their current security status in 5 minutes. 2. 学びたい (What I want to learn): 5 minutes to learn! Points Learning, which provides a self-diagnosis questionnaire to learn from. 3. 始めたい (What I want to start): SECURITY ACTION Self-Declaration Site, which supports users in declaring their commitment to security measures.

- 中小企業でも実施が望まれる基本的な情報セキュリティ対策実施状況の診断ツール
- 25の質問に答えるだけで診断でき、過去の診断結果や同業他社との比較もできる

自社診断

5分でできる自社診断シート

Part 1 基本的対策

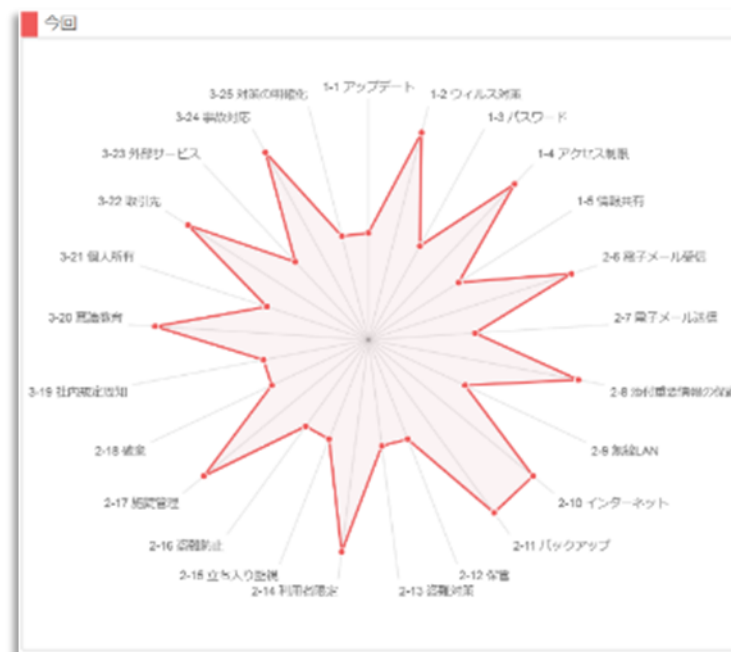
1-1 Windows Update（マイクロソフト社が提供しているウィンドウズパソコンの不具合を修正するプログラム）を行うなどのように、常にOSやソフトウェアを安全な状態にしていますか？

1-2 パソコンにはウイルス対策ソフトを入れてウイルス定義ファイル（コンピュータウイルスを検出するためのデータベースファイル「パターンファイル」とも呼ばれる）を自動更新などのように、パソコンをウイルスから守るための対策を行っていますか？

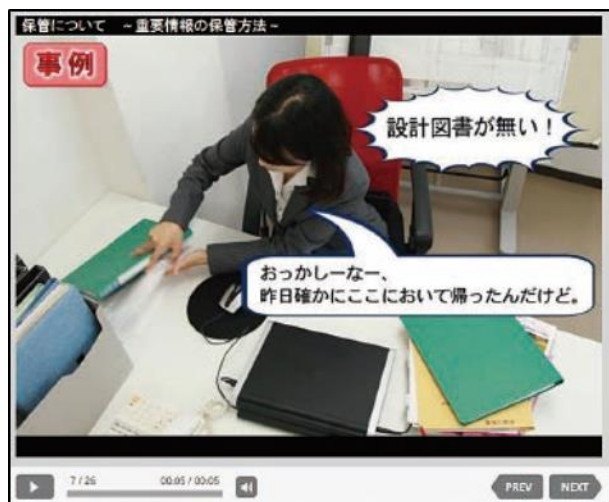
1-3 パスワードは自分の名前、電話番号、誕生日など推測されやすいものを選んで複数のウェブサイトで使いまわしをしないなどのように、強固なパスワードを設定していますか？

1-4 ネットワーク接続の複合機やハードディスクの共有設定を必要な人だけに限定するなどのように、重要情報に対する適切なアクセス制限を行っていますか？

1-5 利用中のウェブサービス（インターネットバンキング、ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）、ウェブメール、カレンダーなどインターネット経由で利用するサービスの総称）や製品メーカーが発信するセキュリティ注意喚起を確認して社内共有などのように、新たな脅威や攻撃の手口を知り対策を社内共有する仕組みはできていますか？



- 職場での日常を取り入れた親しみやすいシナリオで、セキュリティに関する様々な事例を疑似体験しながら正しい対処法を1テーマ5分で学べる
- 学習テーマは自社診断の25の質問と連動



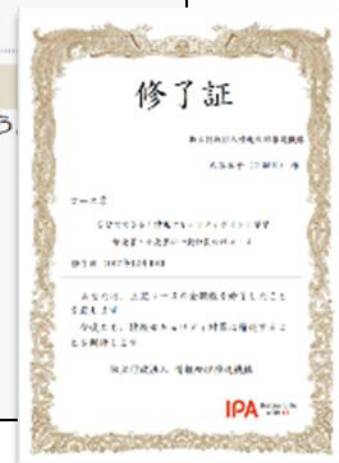
A01保管について ～重要情報の保管方法～

確認テスト 100 点

Q1 ○ 正解

重要書類の保管方法として不適切なのはどれでしょう。

正答	回答	選択肢
		机の上に書類を放置しない
●	●	机の隅にきれいに重ねておく
		書類の性質や内容を明確にする
		鍵付き書庫を利用する



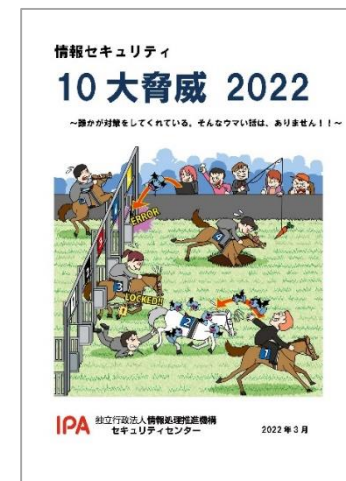
修了証も発行できます

情報セキュリティ10大脅威 2022

● 情報セキュリティ10大脅威 2022 解説書

「情報セキュリティ10大脅威 2020」にランクインした各脅威や、知っておきたい用語の解説、情報セキュリティ10大脅威の有効な活用法などを記しています。

<https://www.ipa.go.jp/files/000096258.pdf>



● 情報セキュリティ10大脅威 2022 簡易説明資料[組織編]

「情報セキュリティ10大脅威 2022」の組織編で取り上げている各脅威を解説したスライド資料です。
本スライドの元資料で、PDF形式で公開しています。

<https://www.ipa.go.jp/files/000096898.pdf>



映像で知る情報セキュリティ

<https://www.ipa.go.jp/security/keihatsu/videos/>



- 情報セキュリティに関する様々な脅威と対策を
10分程度のドラマなどで分かりやすく解説した
映像コンテンツ31タイトル。
- YouTube「**IPAチャンネル**」では全タイトルをいつでも視聴可能。主な情報セキュリティ対策動画は動画ファイルでの提供も行っております。



妻からのメッセージ ～テレワークのセキュリティ～

テレワークでは職場の情報セキュリティ対策と同様に「情報漏えい」や「不正アクセス」などの被害に遭わないよう対策を講じる必要があります。本映像の主人公と一緒にテレワークのセキュリティ対策を学んでいきましょう。



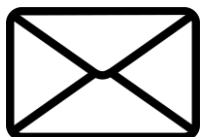
ハケンが解決！ 情報セキュリティ規程作成のポイント

中小企業のセキュリティ担当者に向けて社内の情報セキュリティ規程の作成から運用までの手順をドラマ形式で説明します。



What's BEC? ～ビジネスメール詐欺 手口と対策～

ビジネスメール詐欺は、取引先などを装ったメールで担当者をだまし、攻撃者が用意した口座へ送金させる詐欺の手口です。海外拠点への啓発活動にも活用いただけるよう日本語字幕版・英語字幕版の2種をご用意しています。



セキュリティ関連情報、イベント・セミナーの開催情報や情報処理技術者試験に関する情報をメール配信しています。

メールニュースご登録 <https://www.ipa.go.jp/about/mail/>



IPAの各種情報を配信する公式アカウントです。このほか、各専門分野の最新情報を発信するアカウントもございます。

Twitter公式アカウント <https://twitter.com/IPAjp/>



IPAのイベント情報や情報セキュリティ関連などの最新情報を配信するIPA公式アカウントです。

Facebook公式アカウント <https://www.facebook.com/ipapripj/>



情報セキュリティやソフトウェア開発関連など、研修や個人学習に最適な映像コンテンツを見ることができます。

YouTube「IPA Channel」 <https://www.youtube.com/user/ipajp/>



情報セキュリティ安心相談窓口

<https://www.ipa.go.jp/security/anshin/index.html>

IPA

一般的な情報セキュリティ（主にウイルスや不正アクセス）に関する技術的な相談に対してアドバイスを提供する相談窓口。

相談に対して、事象の分析や助言を行うほか、相談内容から判明したトラブルの傾向、手口、対策に関する情報の公開により、国民のセキュリティリテラシーの向上と対策の促進を実施。

情報セキュリティ安心相談窓口

突然 **ウイルスに感染している**と表示されたけど本当？

アダルトサイトの請求画面が消えない…

ファイルが暗号化されてしまって開けない…



メール、電話

で相談対応を行います

寄せられた情報をもとに被害拡大防止のための**情報発信**を行います



注意喚起



安心相談窓口だより



統計情報



FAQ



電話

03-5978-7509

平日10:00-12:00、13:30-17:00



メール

anshin@ipa.go.jp



ポータル

IPA安心相談

検索



ご清聴
ありがとう
ございました